

金沢学区における新たな移動手段づくりの試行について

1 目的

- (1) 高齢者の運転免許返納件数の増加などにより、これまで自家用車に依存してきた日常生活上の移動手段に変化が生じ、既存の公共交通のみでは移動に支障を来す市民が増加する中で、自宅から買物、通院等への移動に係るラストワンマイル対策として、地域住民と協働した新しい移動手段づくりを実践する。
- (2) 令和2年度に実施した「金沢団地グリーンスローモビリティ等試験運行」の検証結果から、事業化に向けて検討が必要とされた4項目（①利用対象地域の拡大、②移動需要に応じた運行、③地域運営体制の強化、④コミュニティの活性化）に対応するために立案した新たな運行計画について、試験運行により効果を検証する。

2 運行概要

(1) 実施主体

金沢学区コミュニティ推進会（会長 泉 聡二）

(2) 事業費

5,053,800円

内訳：4,000,000円（市補助金）

※ 茨城県「公共交通空白地域支援事業費補助金」を活用（補助率1/2）

（補助期間：令和2年度から令和4年度までの3年間）

253,800円（金沢交流センター事業費）

800,000円（事業協力会員会費1000円/月×200人×4月）

(3) 使用車両

ア グリーンスローモビリティ（4人乗り）2台

※ エナジーシステムサービスジャパン社製（ドア付）

イ 金沢交流センター公用車 1台

※ いずれも、地域住民（金沢交流センター協力員）を運転手とする。

ウ 運行期間（土日祝日を除く、平日運行）

(ア) 第1期 令和3年11月1日（月）から令和3年12月24日（金）まで

(イ) 第2期 令和4年1月11日（火）から令和4年2月28日（月）まで

エ 運行時間

午前9時から午後4時まで

オ 運行方法

運行範囲（金沢学区）内における予約型（デマンド型）運行

カ 利用対象者

事前に会員登録を行った金沢学区居住者（学区外居住者の利用も妨げない。）

キ 利用料（運賃）

グリーンスローモビリティ、公用車ともに無料

ク 利用方法

(ア) 利用希望日の2週間前から前日までに、金沢交流センターへ連絡する。

(イ) あらかじめ設定された自宅付近の停留所（又は利用可能な利便施設等）から乗車し、目的地（又は自宅付近の停留所）で降車する。

ケ 運行ルート等

別図のとおり

コ 事業協力会員登録料

本実証事業に参加（利用）していただける者を会員として募集する。

(ア) 学区内居住者 1ヶ月1,000円

(イ) 学区外居住者 1ヶ月2,000円

3 事業化に向けた検討

地域コミュニティが運営を担い、持続的な自主運営が可能となるよう、グリーンスローモビリティ運行に係る自家用有償旅客運送の許可取得等を検討する。

4 参考資料

令和2年度 金沢団地グリーンスローモビリティ等試験運行検証結果 別紙

以上